

経営比較分析表（令和5年度決算）

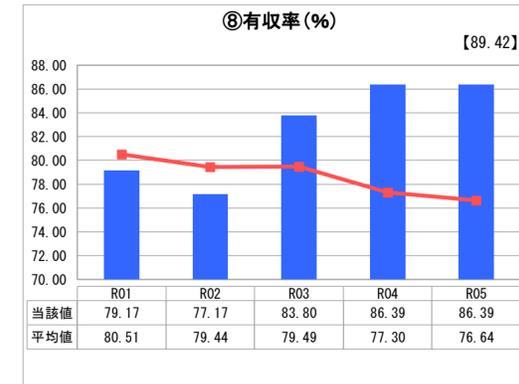
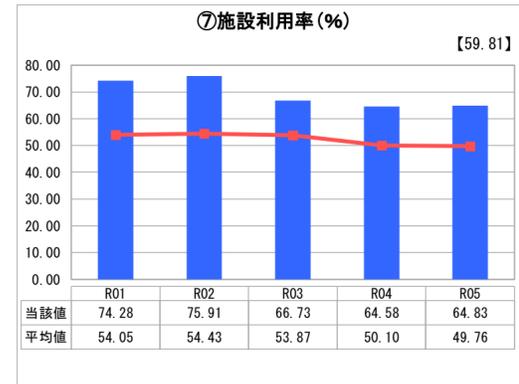
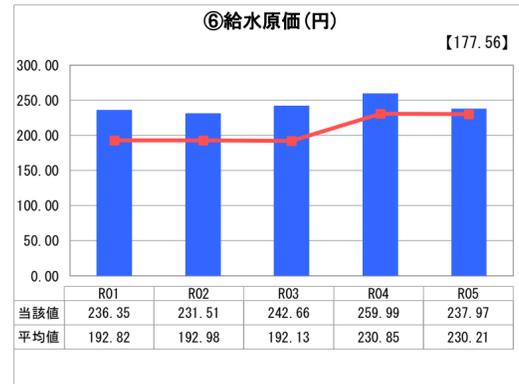
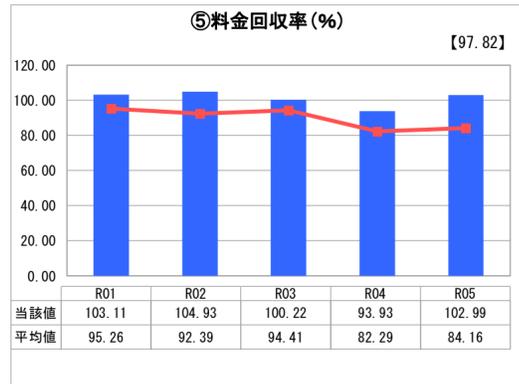
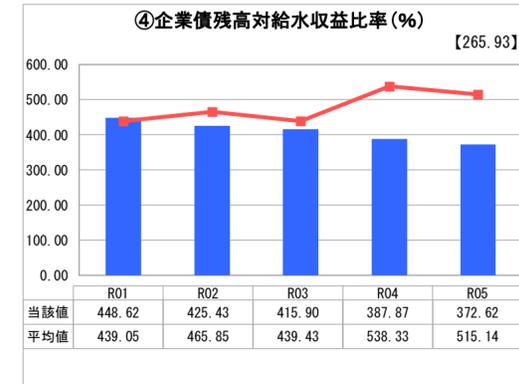
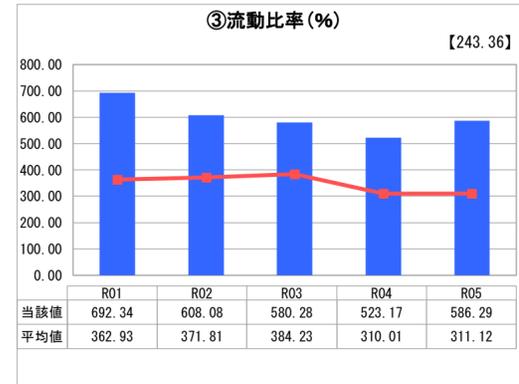
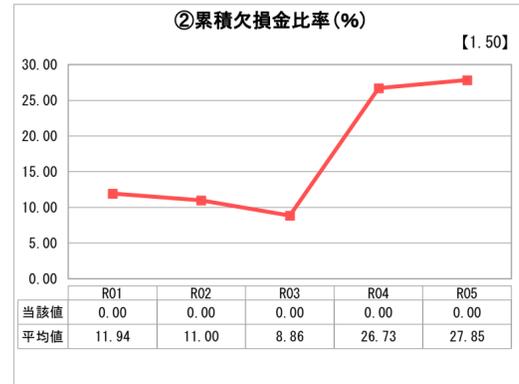
岐阜県 八百津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	78.75	96.88	4,466	

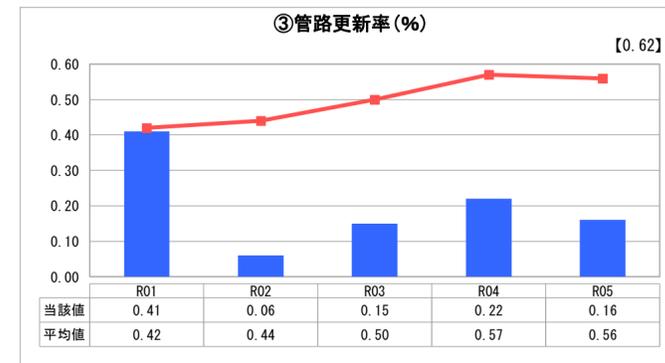
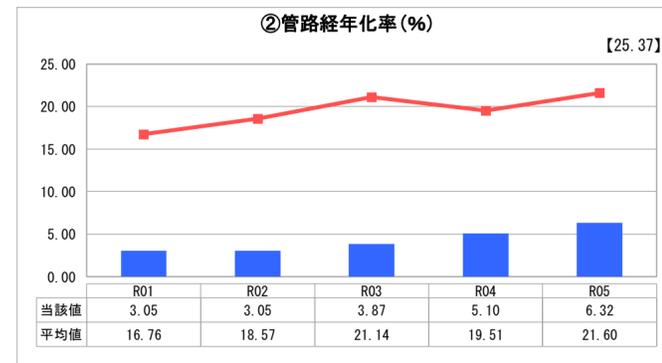
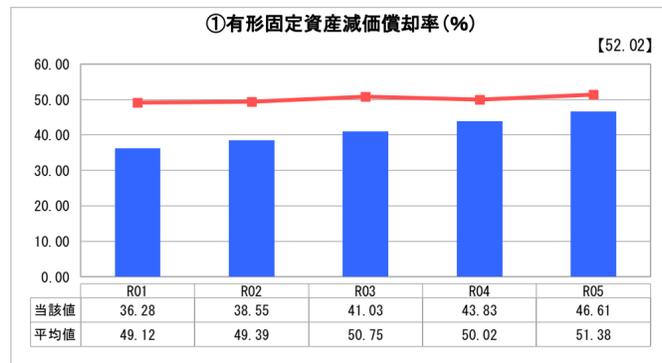
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,092	128.79	78.36
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,696	35.38	274.05

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 令和4年度に赤字経営でしたが令和5年度では黒字経営に転じることができました。今後についても老朽化に伴う修繕費の増加、物価上昇に伴う経費の増加や、給水人口の現象による収益の現象が予想されますが、経費削減に努め経営状況の改善に努めていきます。
 ⑤ 料金回収率については前回数値に比べ改善しておりさらなる向上を目指していきます。
 ⑧ 有収率は前回数値をキープしている。今後も有収率の向上を目標により一層の経営効率化を図ります。

2. 老朽化の状況について

平成9年4月の下水道の供給開始に併せ、給水管・配水管の布設替工事を行ったことで、法定耐用年数を超えるものは少ないです。
 電気、機械設備についても毎年点検を実施し、計画的な修繕を行っています。
 またアセットマネジメントを平成30年度に策定したことで将来の更新予測を把握し、管路、電気、機械設備等を計画的な更新を行うための財源の確保にも努めます。

全体総括

簡易水道事業特別会計を水道事業特別会計に統合したため経営指標が厳しくなっています。今後さらに給水人口の減少が進み、経営状況も厳しくなることから、経営の効率化を進め安定した経営ができるよう努めます。
 また、施設の統廃合・近隣市町村との水道事業広域化も視野に入れ経営を行っていきます。
 そして、災害にも備えるため、水道施設の耐震化を行っていきます。